

患話休題

かんわきゅうだい

77

院長
真崎 雅和

舌の感覚異常

舌の感覚には、味覚の他に温度や痛みの感覚(温痛覚)があり、味覚と温痛覚はそれぞれ担当している神経が違います。

舌の感覚異常の一つである味覚低下の原因にはさまざまなものがあり、口の中の乾燥や感染、血液中の亜鉛やビタミンの不足、嗅覚の低下、ストレスなどがあります。味を感じるためには、唾液に溶けた味の成分が、味を感じる細胞に届く必要がありますが、口の中の乾燥や感染があると味の成分が届きにくくなります。また亜鉛不足は味を感じる細胞の働きを悪くします。加えて嗅覚の低下は風邪などのウイルス感染やアレルギー性鼻炎でも生じます。嗅覚が低下すると風味が分からなくなり、味覚が鈍くなってしまいます。いずれの場合も、味覚低下の原因を診断して、その原因に対する治療が必要となります。

味覚の異常には、味覚の低下以外にも「何も食べていないのに苦みや渋みを感じる」、「しょっぱいものが酸っぱく感じる」といった味の質に関する症状もあります。このような味の質の変化には、味覚の低下と同じ原因で起こることもあります。ストレスなどの心因的な要因の影響も少なからずあります。何を食べてもおいしく

感じないことから、食欲も低下してさらにストレスがかかり悪循環に陥ってしまうこともあります。

舌の感覚の異常には味覚の異常の他に、舌の痛みが持続する舌痛症というものがあります。症状は舌の前方3分の2に出ることが多く、ヒリヒリ感、灼熱感、しびれ感などで、長期間持続することもあります。更年期から閉経後の女性に多い傾向があり、症状の程度も変動し、会話や食事、他のことに集中している時は気にならなかつたり、日中よりも夕方に症状が強くなることもあります。

味覚障害と同じく、口の中の乾燥や感染、亜鉛やビタミン不足、ストレスなどが舌痛症の原因になります。舌痛症の治療には一般的な痛み止めはあまり効果がなく、味覚障害と同様に原因に対する治療が必要です。ただ、一通り検査をしても、はっきりとした原因が見当たらず、症状の改善に時間を要する場合もあります。

私たちが生活していく上で食事は不可欠のものであり、また楽しみの一つでもあります。おいしく食べるためにも舌の健康を維持していきましょう。



診察時間が近づいたことをお知らせする

メールサービス
約30分前

ご利用ください。
ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患 随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3